



第 35 回 (2 月上旬号)

『2009 年版 通訳ガイド英語必勝攻略ゼミ』

(坂本治昭・著、同友館・刊) その③

by 柴田耕太郎

著者の坂本さんとは面識があり、熱誠溢れる英語教育家として尊敬申し上げている。本書の中でも有難いことに、好意的に拙著を紹介してくれている。

大学の授業に役立てようと本書に載っている「通訳案内業試験」を自分でやって解答と照らし合わせたところ、疑問に思う箇所がいくつかでてきた。

より良い本にしていただきたく、あえて以下、翻訳の視点から検討してゆきます。

p24

\*通訳案内業試験(平成 2)

(イ) As financial systems developed, means of payment came into use that were different from those used to be. (1) ( ) example in the United States before the Civil War, the unit of account was 0.0483 of an ounce of gold, but most common means of payment was paper money issued by private banks. A dollar bill from a bank carried a promise that it could be redeemed for gold at any time. In the twentieth century, governments became more involved (2) ( ) the monetary system. In the United States, banks are not allowed to issue dollar bills; only the Federal Reserve has that power. Moreover, the unit of account (ロ) no ( ) has ( ) ( ) ( ) ( ) gold.

Instead, it is the government's dollar bill. Though dollar bill are wildly used as means of payment, other means of payment are even more important, such as checks and credit cards. Although there is no law in the United States that requires prices to be quoted in dollars, nobody would choose to quote prices in another unit, such as French francs. The public is familiar (3) ( ) dollar prices and reluctant to think (4) ( ) any other terms. (ハ) Even if you are good at doing arithmetic in your head, it is a lot more convenient to do all of your financial thinking.

問 1 (1)~(4)に最も適当な 1 語を入れなさい。

**解答：**(1)For (2)in (3)with (4)in

下線（ロ）の空欄にそれぞれ1語を入れ、次の日本語の意味を表すような英文を完成しなさい。

「金(きん)とは、もはやなんの関係もない」

**解答：**longer anything to do with

下線部（イ）を日本語に直しなさい。

**解答：**金融制度が発達するつれ、支払手段はこれまでの方法とは異なってきた。

下線部（ハ）を日本語に直しなさい。

**解答：**たとえ、あなたが暗算が得意だとしても、金銭的なことをするには、非常に便利なことである。

#### （私のコメント）

問1から3まではよいだろうが、問4はどうか。

この解答だと「何が」非常に便利なのか、わからない。

even は強調の副詞。

be good at は「…が得意である」。

do arithmetic in one's head は「暗算する」。

you は、一般人称。

it は、文中で問題になっていることを指す。ここでは「勘定の単位としてドルを使うこと」。

a lot は名詞の副詞的用法「とても」。

more は「ドルで計算することと、それ以外の単位で計算すること」を比べている。

convenient は「便利な」→「都合のいい」→「使いやすい」。

financial は「財務の」→「金融上の」。

to do は、it ～ to do(it は to 以下を指す)の形ではなく、to 不定詞の副詞的用法で「…するには」「…する点で」「…する上において」(目的)の意味。

例：It is good to eat.(それは食用に適する)

thinking は「考え」→「意見」→「判断」。

**解答を修正した訳：**

たとえ、あなたが暗算が得意だとしても、金銭的なことの場合は、ドルのほうがずっと便利なのである。

**直訳：**

ある人が暗算が得意だとしても、自分の財務的思考のすべてをする上において、ドルで考えたほうがずっとはるかに便利なのである。

**意訳：**

たとえ暗算が得意だとしても、お金のことを考える場合、他の通貨よりドルでしたほうがはるかに分りやすいのである。